

音楽は自分も聴く人も

楽しめるのが最大の魅力です

今夏全国デビューする佐々木龍大さんが本町でライブ

2月8日、織笠出身の佐々木龍大さん（盛岡市・32）がボーカルを務めるブルースバンド「龍伝」のライブが行われました。これは、やまだまち女性セミナリが主催したもので、会場の町中央公民館には200人が来場。ライブでは、子供のころの思い出を歌った曲やフェリーで旅をしたときに作った曲など9曲が演奏され、聴衆は情感あふれる歌の数々に聴き入っていました。

佐々木さんが本格的に音楽を始めたのは大学に進学してからのこと。「両親が音楽好きだった影響もあってか、自然に音楽の道へ進んでいました」と当時を振り返ります。卒業後は盛岡に移り、趣味で音楽を続けていましたが、現在のメンバーとジャムセッション（即興の演奏）で意気投合し、平成14年に龍伝を結成しました。

その後は盛岡、仙台、東京などで精力的にライブを行いながら、これまでに自主制作のアルバムを3枚発表。現在は今夏発売予定の全国デビュー盤制作のため、作曲に練習にと多忙な毎日を送っています。

「音楽は、自分だけでなく聴いている人も楽しくなれるのが一番の魅力。常に前向きなメッセージを心掛けて作曲しています」と語る佐々木さんは「目標は世界中で活躍できるアーティストになることですね」と夢に向け意欲に燃えていました。



龍伝プロフィール

01年6月、Vo.&Gt.佐々木龍大（盛岡市・32）＝写真中＝とBa.伊藤DEN昌史（一関市・44）＝同左＝、Dr.&P.井上英司（仙台市・35）で結成。ポップでバラエティに富んだ楽曲に、ジャムセッションの要素を持ち味にした演奏スタイルが魅力のブルースバンド。これまでに1stアルバム「summer 2002」、2ndアルバム「龍伝時」^{サマ}、3rdアルバム「Lovely Brown」^{ラブリー}を発売。



人づくり町づくり町民の集い 大村千恵さんが特別講演

2月22日、「人づくり町づくり町民の集い」が町中央公民館で開かれ、奥州市水沢青少年育成市民会議主任事務局員の大村千恵さんが「社会の未来は子どもたちの心の中にある」と題して講演を行いました。奥州市で青少年が自由に出入りできる施設「ホワイトキャンパス」の運営に携わる大村さん。子供たちと向き合ってきた経験を踏まえ「家庭や学校に居場所が無く、人間関係をうまく築けず悩んでいる子供が増えている。子供は社会に出る前に自分の居場所が必要」と、子供の居場所の必要性を訴えました。その上で「子供は自分を認められることで成長する。家庭で親子関係をどうつくっていくかが大切」と話す大村さんの講演に、会場に詰め掛けた400人の来場者は熱心に聞き入っていました。



講演の様子（上写真）
／「子供の心の成長には居場所が必要」と話す大村千恵さん

